

障がいのある人と 会社を結ぶ ジョブコーチの存在

障害者雇用においては、障がいのある人や雇用する企業にさまざまな不安や悩みが生じます。そこで、両者を結び付けるのがジョブコーチです。

障がいではなく「人」を見る

静岡障害者職業センターでは、就労や職場適応に課題のある障がい者の雇用促進や就業の安定を図るため、企業や事業所に対してジョブコーチを派遣しています。

ジョブコーチの役割は、障がい者本人と障がい者を雇用する企業のニーズに合わせての支援です。障がい者に対しては、職場適応に向けた助言と援助をしています。また、障がい者を雇う企業に対しては、障がいの特性に配慮した指導方法や具体的なノウハウなどをお伝えしています。

日本全国の障害者雇用数は平成19年から右肩上がりに伸びています。しかし、法定雇用率の企業の

達成状況を踏まえると、まだまだ伸び悩んでいるのが現状だと思います。

では、なぜ雇用数が思うように増えないのか。それは「障がいの特性や支援方法などの知識、障害者雇用に関する情報を得ることができていない企業が多い」ということが考えられます。

企業が従業員を雇用する際には障がいの有無に関係なく課題はつきものです。障がい者を雇用する場合、どのようなサポートをすれば良いのか分からないために二の足を踏む企業もあるようです。確かに未知のことに挑戦することは勇気がいると思います。しかし、それは外国人雇用においても同じだったのではないのでしょうか。

誰もが働きやすくなる 職場作りを支援します

雇用が始まった頃は大変珍しいことだったと推測されますが、現代においては企業が外国人を雇用すること自体が当たり前になってきています。

外国人雇用にしても、障害者雇用にしても、会社に合うかどうかは「人」によると思います。企業の担当者には、障がいではなく人そのものを見ていただきたいと思えます。



独立行政法人高齢・障害・求職者
雇用支援機構 静岡支部
静岡障害者職業センター

所在地 静岡市葵区黒金町 59-6 大同生命静岡ビル7F
TEL 054-652-3322
FAX 054-652-3325
Email shizuoka-ctr@jeed.go.jp
開庁日時 8:45 ~ 17:00 (土日祝、年末年始休暇を除く)

小田 訓 所長
静岡障害者職業センター